

みずほCustomer Desk Report 2024/12/13号(As of 2024/12/12)

【昨日の市況概要】			公示仲値		152.36
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	152.27	1.0506	159.87	1.2765	0.6383
SYD-NY High	152.76	1.0531	160.51	1.2787	0.6430
SYD-NY Low	151.81	1.0464	159.15	1.2668	0.6362
NY 5:00 PM	152.65	1.0467	159.74	1.2673	0.6369
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	43,914.12	▲ 234.44	日本2年債	0.5800%	▲0.0100%
NASDAQ	19,902.84	▲ 132.05	日本10年債	1.0400%	▲0.0200%
S&P	6,051.25	▲ 32.94	米国2年債	4.1969%	0.0416%
日経平均	39,849.14	476.91	米国5年債	4.1916%	0.0537%
TOPIX	2,773.03	23.72	米国10年債	4.3347%	0.0606%
ソコ日経先物	39,655.00	▲ 415.00	独10年債	2.1890%	0.0585%
ロンドンFT	8,311.76	10.14	英10年債	4.3620%	0.0440%
DAX	20,426.27	27.11	豪10年債	4.2960%	0.0920%
ハンセン指数	20,397.05	242.00	USDJPY 1M Vol	9.84%	▲0.38%
上海総合	3,461.50	29.01	USDJPY 3M Vol	10.02%	▲0.36%
NY金	2,709.40	▲ 47.30	USDJPY 6M Vol	10.06%	▲0.15%
WTI	70.02	▲ 0.27	USDJPY 1M 25RR	▲1.21%	Yen Call Over
CRB指数	293.27	▲ 0.41	EURJPY 3M Vol	10.30%	▲0.21%
ドルインデックス	106.96	0.25	EURJPY 6M Vol	10.22%	▲0.13%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月12日	09:30	豪 雇用者数変化	11月 35.6k	25.0k
	09:30	豪 失業率	11月 3.9%	4.2%
	22:15	欧 ECB預金ファンティ・レート	12-Dec 3.00%	3.00%
	22:15	欧 ECB主要政策金利	12-Dec 3.15%	3.15%
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	11月 0.4%/3%	0.2%/2.6%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	7-Dec 242k	220k
	22:45	欧 ラガルドECB総裁 会見	「ユーロ圏の経済成長リスクは下振れている」	

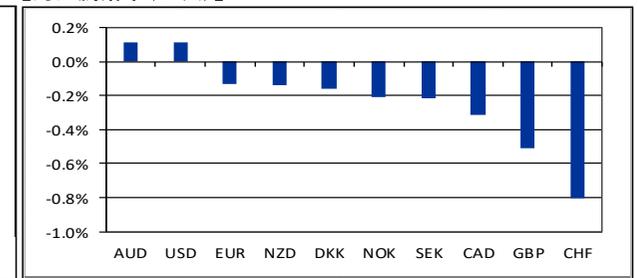
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月13日	09:00	英 GfK消費者信頼感	12月 -18	-18
	13:30	日 鉱工業生産・確報(前月比/前年比)	10月 -	3%/1.6%
	16:00	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 0.3%/0.2%	-0.5%/-1.8%
	16:00	英 製造業生産(前月比/前年比)	10月 0.2%/0.9%	-1%/-0.7%
	16:45	仏 CPI・確報(前月比/前年比)	11月 -0.1%/1.3%	-0.1%/1.3%
	19:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	10月 0.0%	-2.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	152.00-153.50	1.0400-1.0550	158.50-160.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は152円台前半を中心に上下する展開。日本時間には日銀の利上げ見送り観測が高まり、一時152.76まで上昇。その後、米国時間では米PPIが予想を上振れるも、同時刻に発表された米新規失業保険申請件数が予想を下回ったことを受け、ドル円は151円台まで下落。引けにかけては米金利上昇に伴い、152円台後半まで値を戻しクローズした。本日のドル円は200日平均線を下限に152円台での底堅い展開を予想する。昨日発表された米PPIが予想を上回り、依然インフレ加速リスクの兆候が確認されたことから、FEDの来年以降の利下げペースの鈍化の可能性が強まっている。さらに足許で日銀の追加利上げ期待が後退していることを踏まえると、ドル円相場は上方に振れやすいただろう。また本日は本邦朝方に日銀短観が発表されるが、日銀の追加利上げ観測を再燃させるほどの結果は示されないと予想する。

東京	東京時間のドル円は152.27レベルでオープン。前日の米11月CPIが市場予想通りの結果となったため、12月FOMCでの利下げ織り込みが進み一時151.96まで下落。しかしその流れは続かず日米間の金利差を意識したドル買い円売りが優勢となり、152.73レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、152.73レベルでオープン。特段の材料がない中、加ドルの下落を伴って売られ、152.27レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0507レベルでオープン。午後1にECB政策金利発表を控え、断続的に売られる。結局1.0489レベルでNYに渡った。スイス中銀が予想外の50bps大幅利下げを発表しフランは急落した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は152円台前半でスタート。前日に発表された米11月CPIの結果を意識したドル売りの流れが続き、一時151.96まで下落。しかし、その後は米金利の上昇を受け買い戻され、152.27レベルでNYオープン。朝方に発表された米11月PPI(前月比)は予想を上回るも、同時に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想対比悪化したことが懸念され、発表後は151.81まで売られる。売り一巡後は徐々に値を戻し、152.20付近まで反発。午後は米金利高の展開を横目に上昇幅を拡大し、終盤にかけては152.69まで上値を伸ばし、その後152.65で加ース。一方、海外市場のユーロドルは1.04台後半でスタート。ECB理事会の結果発表を控え、1.05台ちょうど付近を中心とした値動きが続き、1.0489レベルでNYオープン。オープン直後に行われたECB理事会では25bpsの利下げが発表され、主要政策金利の中銀預金金利を3.25%から3.00%に引き下げた。その後に行われたラガルドECB総裁の記者会見では「ユーロ圏の経済成長リスクは下振れている」との認識を示した。ECB理事会の結果発表を受け、一時1.0464まで売られる場面もあったが、その後独金利の上昇を横目に買い戻され、1.0520付近まで戻す。午後はドル買いの流れが重しとなり、1.0464まで反落し、1.0467でクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。